

議題 6 地域包括支援センターの運営に係る国の評価項目に対する令和 7 年度 評価指標に基づく評価及び令和 8 年度評価指標の設定について

1. 概要

地域包括支援センターの運営に係る評価において、国が示す評価項目のうち大牟田市における評価について、各評価分野に係る評価指標を設定することとされており(※)、令和 7 年度第 2 回運営協議会における審議を経て、評価指標を設定したところ。

今回、本評価指標に基づき、令和 7 年度における評価を実施する。

併せて、地域包括支援センターの運営に係る国の評価項目に対する令和 8 年度における評価指標を設定するもの。

(※)『『地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について(通知)』の一部改正について(厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課長通知、令和 6 年 6 月 7 日付老認発 0607 第 1 号)』による。

2. 令和 7 年度評価指標に基づく評価(案)について

別紙 1 のとおり。

3. 令和 8 年度評価指標(案)について

別紙 2 のとおり。

令和 8 年度における評価を行い、令和 9 年度第 1 回運営協議会における審議を予定。

○令和7年度評価指標に基づく評価(案)

評価分野	(参考)センター指標に掲げる活動目標	評価指標		令和7年度評価
組織・運営体制	・市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る ・センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う ・センター職員の人材確保及び育成を図る ・市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する	指標	地域包括支援センター事業実績における各重点目標に対する評価がAの割合	【結果】100% (達成) 全ての包括センターで、評価Aである。
		目標値	100%	
		考え方	全包括センターで全ての項目がA評価であること	
総合相談支援事業	・地域包括支援ネットワークを構築する ・市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす ・家族介護者支援に取り組む ・複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する	指標	受けた相談のうち終結した相談の割合	【結果】19.6% (未達) R7 相談件数 14,247 件のうち、終結した相談件数 2,796 件 (参考) R6 実績：20.8% (16,494 件中 3,425 件)
		目標値	20%	
		考え方	本人や家族等が抱える課題への対応状況の評価(R6 実績 20.8%を基に設定)	
権利擁護事業	・高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う	指標	権利擁護に関する市民啓発の実施回数	【結果】41回 (達成)
		目標値	19回	
		考え方	各校区1回	
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	・担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う ・市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う	指標	会議や研修等によりエリア内の介護支援専門員支援を実施している包括センター数	【結果】6か所 (達成) 全ての包括センターで実施している。
		目標値	6か所	
		考え方	全包括センターにおいて実施	

評価分野	(参考)センター指標に掲げる活動目標	評価指標		令和7年度評価
地域ケア会議	・センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる ・地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する	指標	地域ケア会議で明らかになった地域課題をまとめた資料を作成している包括センター数	【結果】6か所（達成） 全ての包括センターで実施している。
		目標値	6か所	
		考え方	全包括センターにおいて実施	
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	・介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する	指標	市内の高齢者人口に占める要支援1・2の新規認定者の割合の前年度比上昇率	【結果】0.03%（達成） R6 認定者割合:2.05%① R7 認定者割合:2.08%② R7.4.1における高齢者人口に占める要支援1・2の新規認定者の割合の前年比上昇率 : 0.03% (②-①)
		目標値	0.1%以内	
		考え方	介護予防等に資する取組を評価（R6 上昇率0.07%を基に設定）	
包括的支援事業(社会保障充実分)	・事業間連携を推進する	指標	意思決定支援に関する市民啓発の実施回数	【結果】49回（達成）
		目標値	19回	
		考え方	各校区1回	

※「令和7年度地域包括支援センターの運営に係る評価【国の評価項目】」【資料5-1・5-2】参照

○令和8年度評価指標(案)

評価分野	(参考)センター指標に掲げる活動目標	評価指標(見直し箇所:下線部)		令和8年度評価
組織・運営体制	・市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る ・センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う ・センター職員の人材確保及び育成を図る ・市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する	指標	地域包括支援センター事業実績における各重点目標に対する評価がAの割合	【結果】 ()
		目標値	100%	
		考え方	全包括センターで全ての項目がA評価であること	
総合相談支援事業	・地域包括支援ネットワークを構築する ・市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす ・家族介護者支援に取り組む ・複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する	指標	受けた相談のうち終結した相談の割合	【結果】 ()
		目標値	20%	
		考え方	本人や家族等が抱える課題への対応状況を評価(R6実績20.8%を基に設定)	
権利擁護事業	・高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う	指標	権利擁護に関する <u>市民啓発を実施している校区数</u>	【結果】 ()
		目標値	19 <u>校区</u>	
		考え方	<u>全ての校区で実施</u>	
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	・担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う ・市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う	指標	会議や研修等によりエリア内の介護支援専門員支援を実施している包括センター数	【結果】 ()
		目標値	6 か所	
		考え方	全包括センターにおいて実施	

評価分野	(参考)センター指標に掲げる活動目標	評価指標(見直し箇所:下線部)		令和 8 年度評価
地域ケア会議	・センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる ・地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する	指標	地域ケア会議で明らかになった地域課題をまとめた資料を作成している包括センター数	【結果】 ()
		目標値	6 か所	
		考え方	全包括センターにおいて実施	
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	・介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する	指標	市内の高齢者人口に占める要支援１・２の新規認定者の割合の前年度比上昇率	【結果】 ()
		目標値	0.1%以内	
		考え方	介護予防等に資する取組を評価（R6 上昇率 0.07%を基に設定）	
包括的支援事業(社会保障充実分)	・事業間連携を推進する	指標	意思決定支援に関する <u>市民啓発を実施している校区数</u>	【結果】 ()
		目標値	19 <u>校区</u>	
		考え方	<u>全ての校区で実施</u>	